



近畿地方整備局 奈良国道事務所
田原本町役場まちづくり推進室

資料配布

配布日時

平成27年 3月 3日
14時00分

件名

～重点「道の駅」候補 選定証伝達式を開催します～
田原本町へ重点「道の駅」候補の選定証を伝達

概要

- 平成27年1月30日に重点「道の駅」候補として選定された、田原本町が計画している道の駅「(仮称)たわらもと」に対して、選定証伝達式を下記のとおり行います。
- 選定証の伝達式では、奈良国道事務所長が田原本町役場へ行き、田原本町長へ選定証を手交します。

日時 : 平成27年3月4日(水) 16:00～
場所 : 田原本町役場 町長室
(奈良県磯城郡田原本町890-1)

■道の駅「(仮称)たわらもと※」
路線名 国道24号
所在地 奈良県磯城郡田原本町唐古
設置者 田原本町
※今後、「道の駅」の新規登録を予定

取扱い

配布場所

奈良県政・経済記者クラブ 橿原市政記者クラブ

問合せ先

国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所
副所長 中村 香澄
交通対策課長 加古 常洋
電話 : 0742-33-1391 (代表)

田原本町役場 産業建設部 まちづくり推進室
室長 坂本 定嗣
係長 森 淳一
電話 : 0744-32-2901 (代表)

～重点「道の駅」候補 選定証伝達式を開催～

田原本町へ重点「道の駅」候補の 選定証を伝達します

- 平成27年1月30日に重点「道の駅」候補として選定された、田原本町が計画している道の駅「(仮称)たわらもと」に対して、選定証伝達式を下記のとおり行います。
- 選定証の伝達式では、奈良国道事務所長が田原本町役場へ行き、田原本町長へ選定証を手交します。

記

<選定証伝達式>

日 時：平成27年3月4日(水) 16:00～

場 所：田原本町役場 町長室

(奈良県磯城郡田原本町890-1)

<報道関係者の皆様へ>

「選定証伝達式」の取材を希望される方は、事前に次の問い合わせ先までご連絡をお願い致します。

問合せ先：国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所

交通対策課長 ^{かこ}加古 常洋

電話 0742-33-1391 (代表)

<参考>

道の駅「(仮称)たわらもと※」

路線名 国道24号

所在地 奈良県磯城郡田原本町唐古

設置者 田原本町

※今後、「道の駅」の新規登録を予定

○奈良・斑鳩・飛鳥等の文化遺産地域の中間地としての立地を活かし、文化財・観光情報と教育活動の拠点として整備し、県内外に発信

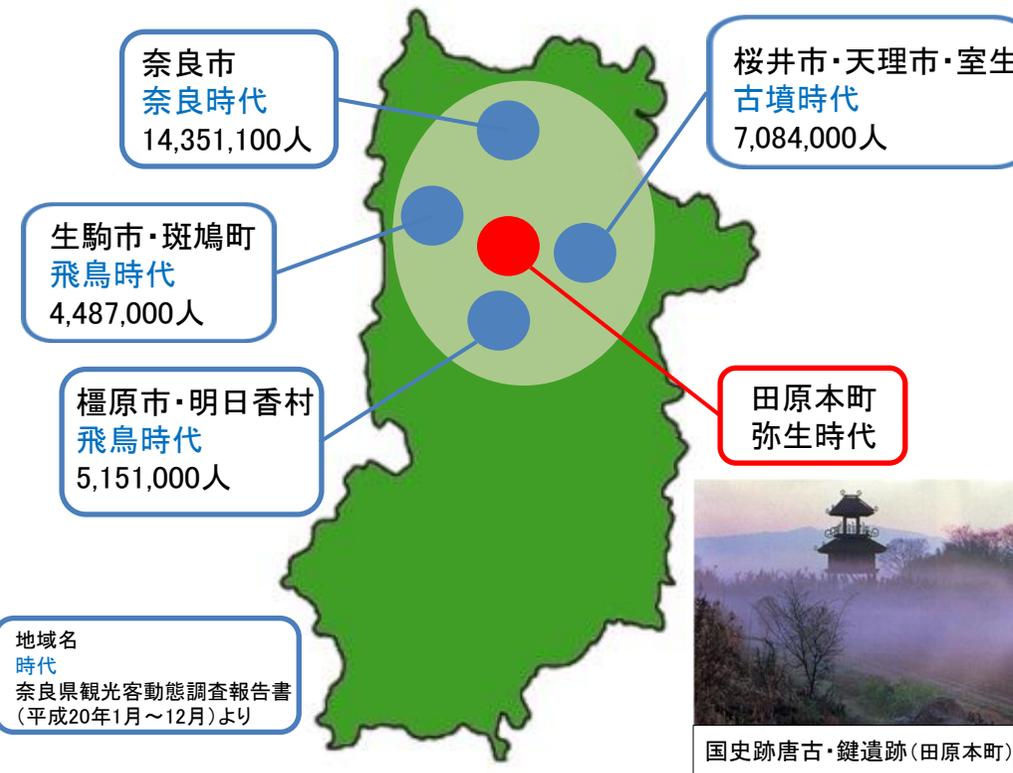
<地方創生拠点としての機能>

ゲートウェイ型

観光総合案内
奈良県の歴史文化観光を総合案内

産業振興
地元農産品を活用した特産品の開発

防災
地域防災機能の充実



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
たわらもと (仮称)	奈良県	田原本町	国道24号	新設	平成30年	一体型



<実施内容>

- 世界遺産とその候補地が集約する奈良県において、観光、歴史体験情報などの広域案内機能の整備
- 隣接する史跡公園(平成30年4月開園予定)の遺跡を活用した歴史体験学習のための多目的室の整備
- 産業振興のための物産品販売・飲食施設の整備
- 無料公衆無線LAN・EV用充電スタンドの設置
- 史跡公園と同様に災害時の応援部隊受け入れのための後方支援活動拠点として地域防災計画に位置付け、雨水貯留浸透施設、備蓄倉庫や非常用トイレなどを整備

<提案の先駆性・ポイント>

- 奈良・斑鳩・飛鳥等の文化遺産地域の中間地としての立地を活かし、文化財・観光情報と教育活動の拠点として整備し、県内外に発信
- 道路を挟み東側に、国史跡の公園が完成(平成30年4月開園予定)することで、歴史体験を学習できる場として観光に付加価値を付与

地域の創意工夫の場となる「道の駅」

- 「道の駅」は
主に市町村が設置し、国土交通省が登録する道路休憩施設

駐車場やトイレのほか、情報提供・休憩施設や地域振興施設を備え、地域の情報発信や交流の場として活用されている。

(施設イメージ)



制度創設 平成5年
「道の駅」登録数は、全国**1,040**駅



中山間地に立地し、地場産品を扱いながら、
年間売上額**約2,100億円**は、コンビニ第5位にも相当

- 地域の創意工夫で、「道の駅」を地域活性化の拠点とする取組が進展

- **観光**で人を呼ぶ

「農業プラス観光」で人口**3700人**の村に年間**120万人**来訪。リピート率は約7割。
(群馬県川場村「川場田園プラザ」)



- **移住**で人を呼ぶ

毎年100名以上が「道の駅」へ移住相談。これまで**17世帯34名**が移住
(熊本県小国町「小国」)



- **特産品**で盛り上げる ～6次産業化で雇用と経済効果～

特産品を活かした加工食品の開発販売等、約60名の雇用を創出
(愛媛県内子町「内子フレッシュパーク」)



- **「小さな拠点」**をつくる

診療所や役場機能等、生活に必要な機能をワンストップで提供
(和歌山県古座川町「瀧之掾太郎」)



- **防災力を強化**する

広域防災拠点として高度な防災機能を発揮
(岩手県遠野市「遠野風の丘」)



「道の駅」の新たな展開 ～重点「道の駅」の選定～

- 「道の駅」を、好循環の地方拡大の強力なツール、地方創生を進めるための「小さな拠点」と位置づけ、各省庁と連携して、特に優れた取組を選定し、重点支援する取組を実施。
- 有識者委員会を経て、重点「道の駅」等として合計90箇所を選定し、公表。(1月30日)

「道の駅」の機能別タイプ

地域外から活力を呼ぶ ゲートウェイ型

- ① 地域の観光総合窓口機能
地域全体の観光案内、宿泊予約窓口 等
- ② インバウンド観光の促進
外国人案内所、免税店、無料公衆無線LAN、海外対応ATM 等
- ③ 地方移住等の促進
地方移住のワンストップ窓口
ふるさと納税の情報提供 等

「道の駅」が
活力を呼び、雇用を創出、
地域の好循環へ



地域の元気を創る 地域センター型

- ④ 地域の産業振興
地方特産品のブランド化、6次産業化 等
- ⑤ 地域福祉の向上
診療所、役場機能、高齢者住宅 等
- ⑥ 高度な防災機能
広域支援の後方支援拠点、防災教育 等



地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に発揮していると認められるもの

全国的なモデルとして成果を広く周知するとともに、さらなる機能発揮を重点支援

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるもの

取組を広く周知するとともに、取組の実現に向けて、関係機関が連携し、重点支援

地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的な取組が期待できるもの

関係機関が連携し、企画検討等を支援

<支援にあたっては関係省庁が連携、各種制度が活用可能>

国土交通省	社会資本整備総合交付金 集落活性化推進事業 河川環境整備事業 地域観光環境改善事業 地域公共交通確保維持改善事業 河川環境整備事業 みなとオアシス制度 等
総務省	地域経済循環創造事業交付金 等
農林水産省	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 6次産業化ネットワーク活動交付金 都市農村共生・対流総合対策交付金 等
経済産業省	次世代自動車充電インフラ整備促進事業 ふるさと名物応援事業 地域エネルギー供給拠点整備事業 等